

京都府立大学生協
 店舗での取り組み～チョコボール企画～



[店舗]

取り組み概要

日時：6/20（月）～7/7（金）
 場所：京都府立大学生協購買組合員の反応：売上合計747個。
 目標の600個を大幅に上回る結果となった。

概要：連合会で一斉に行っていたチョコボール企画に、京都府立大学生協も参加。学生委員手作りの装飾とともに、企画を実施した。当初より1週間延長して企画を行い、目標を大幅に上回る結果となった。

「今までで一番買ってもらった！」

（パート職員より）

POINT.1

学生委員の手で、購買に華を

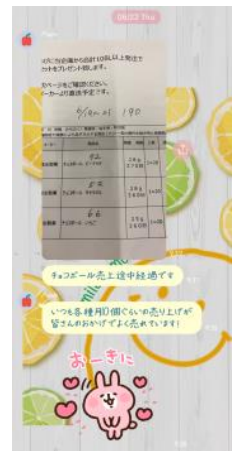


購買に入ってすぐのところに設置されていた、特設コーナー。このコーナーを彩っているのは、学生委員による手作りの装飾です。企画実施数日前に、閉店後の購買へ集まり、学生委員自身で飾り付けを行っていました。学生自らの手で準備を行うことで、企画に対する愛着が湧き、「自分たちで企画を作っている」という想いを持って当日を迎えることができていました。指名手配風のポスター（写真左上）はあえてガムテープで貼り付ける等、企画を魅せるための工夫も随所に見られます。

POINT.2

学生・職員間で売り上げを共有

京都府立大学生協学生委員会では、学生委員会のみLINEグループに加えて、学生委員会・店長・専務との合同LINEを作成しています。企画実施期間中には、チョコボール売上途中経過や消化率を、企画終了後には、最終売上数が共有されていました。学生、職員ともに企画の進捗をチェックし合うことで、自分たちの企画が今どの程度達成できているのかを把握することができていました。企画終了後は、店長より、パート職員からのコメントを合同LINEにて共有し、企画の成果を両立場から確認することができていました。



POINT.3

学生委員自身も、
 学生委員の友だちも、組合員だから



企画を実施するにあたり、肝になったのは学生委員からの口コミ。もちろん、SNSを用いた情宣も行われていましたが、今回の企画では、学生委員から友だちへ、さらにそのまた友だちへと、学生委員を起点に企画が広がっていました。

また、学生委員会のLINEグループでは、学生委員自らもチョコボールを購入し、当たったキョロちゃんやエンゼルを共有しあう光景も見られました。

学生委員も、学生委員の友だちも、さらにその友だちも、京都府立大学生協のいち組合員として、企画を楽しむことができていました。

